

2017年11月30日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

次世代農業ロボット「DONKEY」（仮称）開発コンソーシアムへの参画について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橋正喜）は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎正弘、以下「日本総研」）が2017年11月6日に設立した「DONKEY（仮称）開発コンソーシアム（以下「本コンソーシアム」）」に参画することと致しました。

本コンソーシアムは、日本総研が学校法人慶應義塾（以下「慶應義塾大学」）および栃木県茂木町（町長：古口達也、以下「茂木町」）と共に研究中の自律多機能型農業ロボット「DONKEY（仮称）」について、仕様をはじめ、用途や事業性の検討を行うために設立され、当社のほか、株式会社アルプス技研（代表取締役社長：今村篤）、ユアサ商事株式会社（代表取締役社長：田村博之）、慶應義塾大学、茂木町および国内の輸送機器メーカー、システムインテグレーターから構成されます。各者の人材・知見・技術・開発資金などの資源を結集することで、DONKEY（仮称）の仕様検討・開発を加速させ、社会実装の早期実現を目指します。

日本の農業産出額は低迷を続けており、農業就業人口の減少と耕作放棄地の増加は大きな社会課題となっています。本コンソーシアムでは、効率的な農業への転換、高付加価値の「儲かる農業」を推進すべく、除草、圃場の見回りといった頻度の高い管理作業や運搬などの負担の大きい労働の支援作業を行う自律多機能型農業ロボット「DONKEY（仮称）」の研究や、先進農業モデルのあり方、そしてその先の具体的な地域振興策について検討することとしております。

当社は、DONKEY（仮称）の導入に際しファイナンスサービスを提供することで生産現場への普及を促進していくとともに農業生産者の利便性向上に向けた検討に参画していきます。

これまで、当社では、経営意欲の高い農業生産者を支援する農業専用リースプログラムの提供や、稲作農業法人に出資することで、稲作を中心とした農業生産における効率的で高い収益性の農業経営モデルの構築にも取り組んでいます。また、今年度より、IT活用や6次産業化等の大きな変革期にある第一次産業分野に対応する専門組織として農林水産ビジネス室を設立、専門スタッフを配置し、注力しています。

当社は、本コンソーシアムへの参画を通じて、農業現場が抱える課題の解決に寄与し、農業の成長産業化をサポートいたします。農業生産者の成長支援や新たな農業経営モデル構築を支援していくことで、日本の農業の再興に貢献してまいります。

(参考)

DONKEY (仮称) および開発コンソーシアムについて

1. DONKEY (仮称) のコンセプト

DONKEY (仮称) は、以下の特徴を持つ自律多機能型農業ロボットです。

- ・ 本体には基本機能として、自律稼働・自動追従、監視・防除、画像取得、情報計測、通信機能などを標準装備
- ・ 着脱式のアタッチメントを本体に追加することで、運搬・作業管理、除草などの機能の拡張が可能
- ・ 作業中に取得できる各種データを DONKEY (仮称) ユーザーの共有サーバーに蓄積。データ解析による栽培ノウハウ抽出・収穫予測や外部システム (データ) との連携を通じて、農業の生産性改善、研究開発の促進、需給マッチング・調整、農業金融への情報インフラ提供など、新規ビジネスのためのプラットフォームとして機能

2. 本開発コンソーシアムの概要

次の3つのタスクフォースでの検討を通じて、自律多機能型農業ロボット「DONKEY (仮称)」の社会実装を目指します。

(1) 用途開発タスクフォース

DONKEY (仮称) の用途を検討します。作業性ばかりでなく、コスト効率にも十分考慮しながら、農業経営に真に寄与する用途を見いだします。

(2) システム開発タスクフォース

DONKEY (仮称) のプロトタイプを開発します。これまで日本総研が検討してきた用途のほか、用途開発タスクフォースでの検討結果を実現するためのアタッチメントおよびデータのプラットフォームを製作し、農業生産者が検証します。なお、年内にはプロトタイプを完成させ、2018年3月までに圃場での実証を開始する予定です。

(3) 事業性検討タスクフォース

DONKEY (仮称) の事業の成長戦略を検討します。新たなアタッチメント (用途) の開発計画を含め、市場投入から普及・浸透までの計画を策定します。また、DONKEY (仮称) が収集するデータを活用した新サービスの開発や、農業を核とした地域経済のエコシステムを構築するための構想の検討も行います。

3. コンソーシアムの活動期間

2017年11月6日～2018年3月31日

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

企画部 広報IR推進室 矢野 TEL03-5219-6334